

国語 ⑦

〈問題〉

次の語の数の数え方として最もふさわしいものを、ア～コから選び、記号で答えなさい。

- ① くつ
② つしふ
③ イス
④ 家

「ア」 一足
ウ 一脚
オ 一本
キ 一丁
ケ 一着
イ 一
エ 一
カ 一
ク 一
コ 一
杯 一
斤 一
間 一
軒 一
張 一

平成二十九年
中学入試C日程より

算数の第7回、テーマは「植木算」です。

ア. 直線上に木を植えていくとき $\boxed{\text{木の本数} = \text{木と木の間の数} + 1}$ です。

イ. 円周上に木を植えていくとき $\boxed{\text{木の本数} = \text{木と木の間の数}}$ です。

イの場合は1本の木と(その直後の)1つの間が対応していると考え、木の本数と間数が等しくなることがわかります。アの場合は直線の両端にも木を植えるので、イと同じように1本の木と1つの間を対応させて考えていくと、最後に木が1本多くなることがわかります。

例題：周囲が80mの池のまわりに5mおきに木を植えます。木は何本必要ですか。

解答： 間数は $80 \div 5 = 16$ イのパターンとなり木の本数も同じなので
16本 …… 答

練習問題：

- ① 池のまわりに6mおきに木を植えたら全部で31本必要でした。この池のまわりの長さを求めなさい。(2013年度B日程)
- ② ある直線上に5mおきに木を植えたところ、33本の木が必要でした。両端に木を植えないとき、この直線の長さを求めなさい。(2009年度A日程)

総合問題⑥解答と解説

- ① まず、問題全体を見て、何を答えればよいのかを、考えてみましょう。
- ② 問題に「国語辞典のあるページを開いたところ」とあるので、「国語辞典」についての質問だということが、わかります。

- ③ つぎに、問題を読み進めていくと、「1～5の口にあてはまるひらがなを答えなさい。」とあるので、1～5のそれぞれの意味にふさわしい言葉を探し、四角い枠にもっともふさわしいひらがなを入れればよいということが、わかります。
- ④ そこで、国語辞典の項目がどう並んでいたかを思い出して見ましょう。

正解 1 なぞらえる 2 なぞる
3 なだかい 4 なだらか
5 なだれ